

令和5年第7回田原市教育委員会定例会

- 1 開会 令和5年7月 21日 午後1時30分
- 2 閉会 令和5年7月 21日 午後3時5分
- 3 会議に出席した委員
鈴木欽也教育長、太田孝雄教育長職務代理者、金田真也委員
高崎佐智江委員、田中早苗委員
- 4 会議に欠席した委員
- 5 会議に出席した職員
教育部長 増田直道
教育総務課長 大羽浩和
学校教育課長 峠 尚良
生涯学習課長 藤井 透
スポーツ課長 鈴木雅也
文化財課長 天野敏規
図書館長 是住久美子
教育総務課長補佐兼係長 木村真一

議事日程

別紙のとおり

田原市教育委員会第7回定例会議事日程

日 時 令和5年7月21日（金）

午後1時30分

場 所 北庁舎3階 302会議室

1 会議録署名者の指名

2 教育長報告事項

3 議 題

- (1) 令和6年度使用小学校用教科用図書の採択について

4 報告事項

- (1) 教育委員連絡報告事項
- (2) 「ラーケーションの日」の実施について
- (3) 寄附について

5 その他

教育長

開 会 午後1時30分

本日は、何かとご多用のところご出席くださりましてありがとうございます。

ただいまの出席者は、5名であります。定足数に達しておりますので、令和5年田原市教育委員会第7回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

教育長

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。今回の署名者として、金田委員と田中委員のご両名を指名させていただきますのでよろしくお願いいたします。

教育長

それでは議題に先立ちまして、教育長報告を私からさせていただきます。

表紙の次のところになります。教育委員会報告、教育長メモのところをご覧くださいだと思います。

大変暑い日が続いておりますが、昨日が田原市内の小中学校の1学期の終業式でございました。今日から夏休みということで、子どもたちにとっては、1年の中で一番楽しい時間が始まるのかなというように思っております。

1学期の間の学校の状況ですが、小さな事故や救急車が出動されたことなどは多少あったのですが、大きな事故や事件というものはなくて、何とか無事に1学期、各学校が終えることができたかなと感じております。

5月8日から新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したということもあって、学校のコロナ対応を含めた様々な活動が少しずつ変わってきているところかと思えます。ただ、学校だけではなく、一般社会においても同じ状況であるかと思えますが、私を感じるころではまだ変化はゆるくて、5類に移行する前とそんなに大きな変化はまだ起きていないのかなと、それぞれに慎重にいろいろなことを配慮しながらアフターコロナの在り方を、今だんだん持ち方を考えながら進めてきている、そんな状況のところかと思っております。

教育長メモのところをまた何点かピックアップしてお話ししたいと思います。

学校訪問が今回ちょうどそのシーズンになりましたので、たくさん訪問する機会がございました。ここに示してあるだけでも、私は9校の学校訪問の機会がありました。それぞれの学校で違いもあるのですが、共通して私がいいなと思ったことが、それぞれの学校が校長の示す教育目標に向かって、職員が協働しているということがとても感

じられました。

それから、問題や課題はそれぞれの学校が抱えているわけですが、そのようなことに対してもどの学校も組織的に対応するということが感じられました。

それから、何よりもよいと思ったのが、子どもたちの姿を見て、どの学校も大変落ち着いており、よい学校生活が送れているというようなことを感じました。学校が努力をして、何とか教育活動を進めていくくれるなということで感謝をしている次第でございます。

そうした中で、各学校の特色であったり、学校の個性というのでしょうか、それぞれ学校が持っている状況が様々なものですから、そういったものがとてもよい形で表れているなということを感じました。各学校がそれぞれの特徴を生かして教育活動を進めていくということが、私はやはりとても大切なことであると思っております。そうした意味において、学校が今、うまく機能している部分が多いのかなということを1学期の訪問で感じた次第でございます。

9校訪問した中で、2校だけ少し紹介させていただきます。

6月19日に田原南部小学校と6月27日に行った伊良湖岬小学校であります。どちらの学校も田原市教育委員会から教育研究指定を受けていて、この10月下旬に研究発表会で、市内の全職員が2校に分散してそれぞれ参観にいくわけですが、今一所懸命、研究に取り組んでいるということで、私たち教育委員会は、要請訪問という形で、今取り組んでいることに対して指導を受けたいという学校からの要請に応じて行かせていただきました。どちらの学校も今学校で使用が始まっておりますタブレット端末を活用した教育活動をいかに進めていくか。ただ、使用するだけでなくそれを使って、子どもたちの学びをどう充実させていくのか、そのことに両校とも焦点を当てた研究をしていて、大変今の時代に合った研究をしてくれているなということを感じました。どちらも子どもたちがとても学習の中で有効な使い方をしており、それから先生たちも大変操作に慣れてきて、ただ単に使えているというよりは、本当に学びの中でそれを生かしていると、そんなことがいろいろな場面で見られたものですから、10月に市内の全職員に対して、そういったことを伝達していく、そういった上でも非常に意味のあることになるということで期待しているところでございます。

そのほかのことで2点だけこの表の中から報告させていただきます。

7月5日、愛知縣市町村教育委員会連合会の総会と研修会が刈谷市で行われて、教育委員さん方とも一緒に参加させていただきました。

研修会で水谷もりひとさんという方の講演をお聞きしたのですが、日本講演新聞という私、初めて聞いた新聞ですが、この編集長をなさ

っている方で、非常に話が上手で心に響くお話をされておりました。教育にも役立てたいという形で、いろいろな教育関係者であったり、様々な一般の企業の経営者であったり、そういった方たちとにかく心に響くことをということで活動なさっている方であります。たくさん私も心に響くことがございました。

今、自分たちに直接関わることで言うと、教育関係者の研修ということについて、水谷さんがお話ししたことが心に残っております。研修というのが研究と修養ですが、これは教員に義務づけられているものですが、研究というのが子どもをよくするために行うものである。修養というのは、自分をよくするために行うものである。つまり自分磨きをすることであると。自分磨きすることが、教員がそういったことをすることがやはりよりよい教育をすることに当然つながるということですが、どうしても修養の方が現場ではできていないということです。どの人もそうだと思うのですが、時間がないからということが理由になって、どうしてもやらなくてはならない研究の方はやるのですが、修養の部分というとなかなかできずにということですが、実は、修養なくして研究を深めるということはある得ないのではないかと思います。とても私も納得したところでございます。

日頃から、各学校には先生たちに本当に自分自身をしっかり磨き高めるようなことをぜひお願いしたいということも校長会などを通じてお伝えしているところですが、またちょっといいお話を聞いたなということを感じました。

それから7月14日の三遠南信教育サミットでございます。

飯田市の方で開催されて、こちらも教育委員さんと一緒に参加させていただきました。コロナになって以降、交流会のような内容が初めて復活して行われたものですから、大変意味のある会になったと感じております。

去年は、総会であったり、お昼の研修会のようなものだけで終わったわけです。それはそれでとてもよかったのですが、本来のこの地域のお互いの交流を深めて、しっかりと情報共有をしていくというそういったことが今回とてもよくできました。

そうした中で、やはり南信地域というのが非常に過疎化が進んでいて、小さな町村がそのままたくさん取り残されているような形になっていて、人口減少の問題であったり、あるいは財政規模が非常に小さくて、なかなか思うような施策が取れないといったことで、ご苦労されているのが分かりました。

問題が非常に大きいことですから、なかなか難しいわけですが、同じ地域としていろいろな面で協力しながら、根っこの部分は私たちも同じ問題を抱えていると思いますので、何とかこういった会を生かし

教育長

ていけるといいなということを強く感じた次第でございます。
以上、私からの報告とさせていただきます。
何か質問等がありましたら受けたいと思いますがいかがでしょうか。
それでは、ご質問もないようですので、教育長報告事項を終わります。

教育長

ではこれより議題に入ります。
初めに、議案第13号「令和6年度使用小学校用教科用図書の採択について」を議題といたします。
議案第13号の令和6年度使用小学校用教科用図書の採択についての審議についてでございますが、東三河教科用図書採択地区協議会における審議が非公開にされておりますので、本市教育委員会においても、この協議会に準じて秘密会とすることを提案します。
また、8月末日まで開示しないことも併せて提案いたしますが、これにご異議はございませんか。
(異議なし)

では、ご異議なしということで、議案第13号「令和6年度使用小学校用教科書の採択について」の審議については、この教育委員会を秘密会といたします。
市民から会議録の公開請求がありましても、この部分については、8月末日まで非公開文書扱いといたしますので、よろしく願いいたします。
それでは、本件に関係する事務局以外の者の退席を求めます。
(関係事務局以外退席)

教育長

それでは改めて、議案第13号「令和6年度使用小学校用教科用図書の採択について」を議題とします。
(以下、議事を非公開)
(退席事務局の入場)

学校教育課長

今日、お渡しした資料を回収させていただきます。

教育長

それでは、次に報告事項に入りたいと思います。
教育委員の皆様方の連絡報告事項を順次お願いいたします。
太田委員からお願いいたします。

太田委員。

私は、この間に学校訪問2校させていただきました。6月23日に田原東部小学校です。実は、昨年の秋も東部小学校へいったのですか

ら、半年しか空いていないですが、校長先生も代わったということで、また新たな気持ちで行ってまいりました。

東部小学校は、私が以前勤務したことのある学校ですので、いろいろ細かいところまで知っているわけですがけれども、校舎自体は大変老朽化しておりまして、昭和45年、51年に築50年前後ということで、大変箱ものの自体は古いですがけれども、その中でいろいろ代々工夫をして、子どもたちが学べる環境を作っていることはすばらしい、校舎内だけでなく外のほうもいろいろ自然の緑がいっぱいある学校ですので、そういうところの整備もよくできておりまして、ただ、私が前々から気になったことですがけれども、平成3年に図工の研究発表をしたときの絵だとか作品がまだ掲示してあるものですから、見直したらどうかなということを僭越ですけど言わせていただきました。

それから、来年度から研究指定ということで、既に教務主任の先生を中心に自他を大切にすることということで、現状分析からいろいろ指導案等も統一して、研究に取り組んでいる前向きな姿勢が大変すばらしいなと思いました。

それから、コミュニティスクールについても、まだまだ進んでおりませんがけれども、ふるさと学習等を大変盛んに行われておりますので、そういうところを核にして進めていけたらいいかなということを思いました。

それから、野田小学校については、東部小学校とは逆に大変新しい学校で、校舎は平成20年、体育館が28年にできたばかりということで、新しい校舎ですがけれども、その環境を維持していくというまた逆の苦労があるなということを感じました。大変、新しい環境が維持されていたと思います。

もう1つ、東部小学校とは逆に研究発表が令和3年に終わりました、それが終わった後、どのように継続・発展させていくかということでこれも指導案にこの研究の一番のポイントになるような、野田ポイントという本時のキーワードを指導案のほうに載せていたり、振り返りを重視するという、こういう全校で統一された取組がなされておりました。

それから、コミュニティスクールにつきましても、来年度から実施していくということで、校長先生が大変前向きに学校経営をされていることが野田小学校でも伝わってきました。

それから、7月5日の日に県の市町村教育委員会連合会の定期総会と研修会に、先ほど教育長先生からも報告がありましたけれども、私も同行させていただきました。

刈谷市の総合文化センターで行われましたけれども、駅から直結というような形で施設がありますけれども、駅周辺の再開発で大変すばらしい施設でした。さらに、ご挨拶の中で市長さんからお話がありま

教育長

金田委員

したけれども、市内の小学校は昨年、体育館の空調を付けたということで、今年中学校を付けるということで、いずれの場合も大変刈谷市の財政力というか、そういうものの大きさを実感しました。

先ほど、教育長からもありましたけれども、私も研修会大変すばらしいお話だなということを感じました。教育であつたり、経営であつたり、人の生き方であつたりそういうものをいろいろな講演会を通して、すばらしいものをピックアップして新聞に載せたり、社説を書いたりということで、日本講演新聞というものを発行しているということで、情報というのはいろいろな伝達を行うわけですがけれども、情報の情は情けというので、やはり人の思いであつたり、感動であつたり、そういうものが必要じゃないかなという、そういうポリシーを持ってみえました。

会場の入り口で書籍の販売をしておりましたけれども、ちょっと買う時間とお金がなかったものですから、市の図書館で早速借りて、この暑い夏、大変心が洗われるようないい本ですので、中央図書館にはなかったものですから渥美の図書館で5冊ほどありましたので、また、水谷もりひとで検索すれば多分出てくると思いますが、読むといいんじゃないかなということを感じました。

以上です。

ありがとうございました。

続きまして、金田委員お願いします。

6月24日に乗松恵美さんのソプラノコンサートに行ってみいました。個人的に、オペラは初めてだったんですけど、1部のつかみから2部のハイライトまでと初心者でも分かりやすく十分楽しめる内容だったと感じました。

2部のハイライトには、賛助出演として福江中吹奏楽部が参加していて、生徒、顧問にとっても、とてもいい経験になったのではないかと、そんなふうにも感じます。

また、乗松さんは、当日だけではなくて、前々日から田原に入って、保育園や小中学校を回って交流を深めていたそうで、教育委員会主催の特性を十分に生かした内容に感じました。とてもよかったと思いました。

次に、6月30日に赤羽根小学校の学校訪問に行ってみいました。

1年生から6年生まで単学級、特別支援が2つと、計8クラス生徒が140名と表浜に近くて、潮を感じる自然豊かなとてもいい学校だなと思います。

地元の人を中心に、県外や海外、転入生、赤羽根学園の子、また父・母子家庭等、様々な環境で育つ子が集まっていて、クラスによって雰囲気全然違うというのが自分にも伝わってまいりました。そんな中、クラスと担任を入れ替える担任シャッフルを行っている聞き、いろ

いる校長先生方が工夫していろいろな刺激を感じながら学校運営をされているということが伝わってまいりました。

来年度からコミュニティスクールに取り組むことについて、地域とともにある学校づくりに取り組むことはいいことだと思いましたし、お互いを理解し合うにはとてもコミュニティスクールは、いいきっかけだと思う反面、これに時間、労力を費やすのは間違いないです。より高い仕事をするには、どれも重要な仕事だと思うのですが、重要性が低い仕事というのを思い切って選別して、切ってこのコミュニティスクールに取り組んでいくことも一つの手法なのかなと、そのようにも感じます。

次に、7月5日に愛知県市町村教育連合会総会に刈谷市に行ってまいりました。教育長と太田先生が話した以外のことで報告すると、刈谷市は人口15万人で、工場誘致が進み人口増をしている市ということで、とても勢いを感じました。ハイウェイオアシスであったり、愛知教育大学などがあるととてもいいところだなど、そのような市ですけれども市長の話でもそうですけど、舞台上には三河教育事務所代表として山上先生が登壇していたということと、刈谷市教育長が赤羽根出身の人ということで、田原の人が活躍している、それだけでも見る価値があったのかなとそのように思いました。

また、講演では、この新聞を書いた人のお話だったのですけれども、30年前、この新聞の経営を引き受けたときは、販売がたった500部だったのが、今はもっと多く売っていると思うのですが、この新聞社を受け継ぐに当たって、奥さんが売るのは私に任せてください。あなたは、いい記事を書いてください。その一言が自分の中に刺さって、奥さんの支えがあって、きつとうまく経営が成り立っているのかなというのを感じさせていただきました。

次に、7月14日に社会を明るくする運動講演会に前半だけ参加させていただきました。保護司会主催ということで、田原市には男26名、女1名の計27名で構成されている保護司さんが主体となって運営されていました。挨拶の中では、刑務所出所後、就職しづらい、犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域の力がとても大切だということを挨拶の中で訴えていました。中学生の作文朗読を聞いて、加害者となってしまった少年少女が更生するにはどうしたらいいのか、居場所をつくるのが大切と女の子が言っていたことが印象的でした。

また、再び社会の一員になれる環境を作っていく、相手を思いやる気持ちを忘れないようにしたいと、そんなことも言っていました。

少し戻るのですが、この人が、取り上げられた人が刑務所から出所した人の働き場を作る、この人が雇って、働き場を作っているというような内容がタイムリーで書くのだなと思いながら、そんなことを感じさせていただきました。

教育長

高崎委員

最後ですが、自分の仕事ですけど、今、仕事をやっていて、アルバイトの人がたくさんいるのですけど、ふるさと教育センターの子ども若者相談員から、21歳の男の子を働き手として紹介してもらいました。暑い中でも真面目に、一所懸命働いてくれているので、とても助かってありがたかったです。また、これでアルバイトももうすぐ終わるのですけど、近況を子ども相談窓口の方に報告すると同時に、こういったケースはどうしたらよかったかという相談をしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

また、仕事場に関連しまして、熱中症を出してしまって、パートさんですが、早期発見、早期対策したため、軽度で大事には至らなかったのですけど、熱中症になるという人はやはり個人差がかなりあると思います。その日の体調というのもあると思うのですけど、やはり暑さに慣れていない方が熱中症にまずなってしまう。エアコンの普及というのが非常に大きいのかなと思います。今、夏休みに入って、子どもたちが家庭の中でずっとエアコンに入っていた子が、夏休み明けに出てきて、差がかなり家庭によって出てくると思いますので、また、そこら辺を注意してもらえたらなとそのように思っています。

自分からは以上です。

ありがとうございました。

続いて、高崎委員お願いします。

私は、6月22日、田原中部小学校へ学校訪問、7月14日、三遠南信教育サミットのため飯田市で出席してまいりました。

まず初めに、田原中部小学校の学校訪問について感じたことをご説明させていただきます。

学校に入るや否や感じたことでございますけれども、建物がとてもクラシックでレトロ、ですけれども清潔感があってきれいでした。そのときに感じましたのは、このレトロな雰囲気というのは、最近ですと明治村などに行かないと感じないのですけど、こうした昔ながらの重厚感、そして本の整理も重厚感のある本棚に入っていまして、こうした環境の中でお子さんが育たれるというのは、今、とてもワンコインだったり、それから薄利多売のお店とかが増えていますので、逆に大切なことなんじゃないかなということを初めに感じさせていただきました。

そして、校長先生のご説明ですが、パワーポイントを使われて、とても分かりやすくそして、簡単に、ですがきちんとご説明をしてくださいまして、こういう学校ですととても報連相ということが、皆さんの中でなされているのではないかなということを感じさせていただきました。

ただ1点、私がいつも中部小学校に限らず思うのですけれども、以前、六連小学校を見学させていただいたときに、やはり研究発表会と

ということですばらしいなという感動をした覚えがありまして、中部小
学校の例で言いますと、ほかの先生の授業を見に行きなさいよとい
うことをよくおっしゃっているそうで、そうしたことの連携がたくさん
できるととてもいい、もっともっとすばらしくなるのではないかなと
いうことを思いました。

2 番目に、三遠南信教育サミットです。山西教育長のお話ですとか、
山村でのお子さんたちのお話とかがありまして、ちょうど飯田市に何
う前日に、学校の先生を退職されてから70歳でもまだ小学校にお勤め
されているすてきな先生の話聞いたばかりだったのです。放課後の
ことについて伺いまして、ちょうどこの山西教育長さんが全国に先駆
けて放課後、部活動が廃止になるに当たって、市民の方のご協力を得
て小学校でお子さんたちを伸ばされる事例をお話をされていました。

ただ、1 点気になったのが、やっていらっしゃることは本当にすば
らしいと思うのですけれども、とても多くの予算を費やしていらっし
やいましたので、この辺のところが教育の不公平さというか、そうい
ったことを市の中でいろいろ感じるような気がいたしました。

山村のことについては、すばらしいなと思いましたが、こう
したことは、この地域でもお子さんが家庭にいても、していけること
ではないのかなというようにことを実際に思われました。

ですので、この田原市というのは、自然もあり、そしてオンライン
の教育を受け、本当にお子さんの未来にとっては、とても可能性がた
くさんあるなということを感じさせていただくとともに、やはりこう
した教育サミットなどに伺って、皆さんとお話をさせていただきます
と、私自身が振り返らなければと思うのは、やはりどんどん、どん
どん変わりつつある環境について、本当に自分が何を取り入れて、何
を自分の中で断捨離をしていくか、そういうことを改めて考えなければ
いけないなということをお思いました。

そしてあと1点、飯田市の周りの方って、本当に500名の村の方とか、
いろいろなお話をさせていただくことができ、私にとっては有意義
だったのですが、その中で私、知人の息子さんで先生をやってい
らっしゃる方がみえるのですが、その方のおばあさんというのがこの飯
田のご出身で、すごい政治家でいらしゃったのです。そのお話が出
まして、その人がいたからこそ、この飯田の教育というのはすごくバ
ランスがいいんだよ、教育熱心だよというのを伺うことができ、帰
ってきてそのお母さまにお伝えしたら大変喜んでみえたので、何事も
一朝一夕にことはできないのだなということをお思いました。

あと1点、私自身がフォーカスを変えるということをやっと心
掛けていまして、時間に追われるのではなく、時間を制したいなとい
うことを思いまして、先ほども金田さんのお話ではないですけど、私自
身が追われていて、オペラを楽しめるという生活を自分がしていない

なということをつくづく思うのです。これはいけないと、最近早起きをしているのですが、早起きをして見るといつも家の近所を歩いていたのですが、最近暑いので滝頭へ行くことにしてます。そうすると早い時間だったり、ちょっと時間がずれたりすると、今日はテニスコートでテニスをしてらっしゃったりとか、そういった地域の皆さんを拝見することができるのです。先日ですと、飯田に行く時間がちょっと違ってまして、その間にまた戻ると、成章高校の学生さんがずらっと、こんなに横断歩道をみんな待つんだとか、もう灯台下暗しで、地域のことして皆さんの登下校とか、そういった様子を全然私、知らなかったのです。少し時間をずらすことによって、知らなくてもいいけど、知っているといいよねということをこれからもどんどん吸収していきたいなと思っています。

あと、最後になりますが、娘が名古屋におりまして、星が丘というところに行ってきたのですが、そこに豊橋の障害者の方たちが働いていらっしゃる、全国的に有名になってきた久遠チョコレートというところがお店に入っていたのです。すごいなと思っていたら、隣に体にいいレストランというコンセプトで始めたお店があって、じっとパンフレットを見ていたら、なんと私の高校のときの部活動のペアの女性がそのオーナーだったわけです。そのコンセプトというのが、大学受験のときにお子さんに体にいいものをつくりたいというお母さんの思いから始まったという、何とうちの娘、時々そこでお弁当を買っていたのですが、そうした主婦の目線から先日もテレビで取り上げられて、何と従業員さんも今20名いらっしゃるそうですし、こうしたお母さん目線で、そうなんだ、田原ってこんなに食材の宝庫で、アイデア一つでもっともっと田原の中も充実していけるし、それからお子さんの食育ということに関しても、もっともっと伝えさせていただくことがあるんじゃないかと、1歩外に出ることによって、飯田市もしかりですが、最近勉強させていただく機会がありました。

先ほどの金田さんのお話の、売るのは私に任せてくださいと言えるような、人物になりたいと思っております。

長くなりましたが以上です。

ありがとうございました。

最後に田中委員お願いします。

私からは3件報告いたします。

6月17日、田原市博物館の太田洋愛展を見に行ってきました。

太田洋愛展は、一昨年成章高校120周年記念の展示も見に行きました。

この方の絵は、とても繊細で写実的で、でも背景が白なので、とても対象物が見やすい絵です。私は、絵が好きでしたので、とてもこんな絵は描けないなと思いつつ、とても癒されてきました。

教育長

田中委員

2 件目です。

6 月28日に、高松小学校の学校訪問に行ってきました。全校生徒が71名ということで、小規模校ならではのゆったりとした温かい雰囲気でした。低学年は、わいわいと楽しそうに学習しており、高学年は落ち着いた雰囲気で、マスクをしていない児童の方が多く、やっと本来の学校生活に戻ってきたなと感じました。

5 年生が理科でメダカの卵の観察をしていましたが、タブレットと顕微鏡、デジタルとアナログの両方で学んでいて、児童がそれぞれ自分のビオトープを持っていて、それがうらやましく思えました。

ビオトープは、2リットルのペットボトルを横にして一面をくりぬいたというもので、中に小石が敷いてあり、ヤドカリやメダカを育てていました。個人で育てると、餌のあげ具合やお世話に対しての責任感があって、クラスで1つの水槽を持つよりもとてもいいと思います。

コミュニティスクールが2年目だそうですが、地域の方もとても積極的で温かく、授業補佐のボランティアをしてくれたりしているそうです。児童も地域の花壇のお世話をしたり、相互でよい関係ができているようでした。

来年度から部活動の代わりになるような、放課後の活動も地域の方が協力してくれるそうで、頼もしいなと思いました。

3 件目です。

7 月14日、飯田市で開かれた三遠南信教育サミットへ教育長と高崎委員さんと一緒に行ってきました。

飯田市は、過去に中学生がつくったリンゴ並木が70周年を迎えたそうです。リンゴ愛に満ちていて、文化会館のシートの色も赤いリンゴ色でした。

人形浄瑠璃を見させていただきましたが、私は中学生以来の体験で、子どもの頃は良さがちっとも分からず、何だか不気味だなど、とても失礼なことを思っていたのですが、大人になって見ると、1 体の人形を操る3 人の黒子さんのチームワークがとても見事で、視点が変わりとても貴重な体験をさせていただきました。

次に、愛知、長野、静岡から1 つずつ事例の発表がありまして、豊橋市の中心都市ならではの豊富な人材や、事業費で作るのびるnde スクールは、部活動に代わる放課後の理想に近いなと思いました。

磐田市は、歴史とスポーツ、産業のまちで、培うことを大切に、小中一貫教育や、コミュニティスクールに力を入れていて、義務教育期間をより充実させようと、新しい形に取り組んでいました。

長野県は、NPO 法人でしたが、子どものやりたいという気持ちに寄り添い、自然の中で学べる昭和の夏休みのような学童ができるような取組でした。

3 つの発表は、それぞれ違う土地で、それぞれのよさを生かし、大

教育長

学校教育課長

人たちが本気で子どもたちの未来へ力を尽くしているなど感じました。

先ほどの高崎委員さんのお話であった久遠チョコレートさんの社長さんが夏目さんというんですけど、私、個人的にチョコレートが大好きで、時々豊橋のお店に行くんですけど、その方の映画がありまして、観たことがあるんですけど、小規模でその映画会をすることができるそうなので、田原市でもやっていただけるといいかなと思います。

社長さんは、弱い人たちに寄り添ってくれて、優しい世界をつくらうとしている方なのです。まだ、お若いというか、40代か50代だと思うんですけど、個人的にお勧めです。

以上です。ありがとうございます。

ありがとうございました。

次に、報告事項（２）ラーケーションの日の実施について、事務局から報告をお願いします。

資料がたくさんありますが、資料２をご覧ください。

保護者用リーフレットというものです。愛知発の新しい学び方ラーケーションの日。令和５年９月になっておりまして、９月の初めに各学校の児童生徒を通して保護者に配布されるものでございます。順番に見ていきたいと思います。

愛知県では、未来につながる家庭での主体的な学び、体験的な学びを応援するためにラーケーションの日をスタートします。子どもの学びと保護者の休暇を組み合わせた、平日だからこそできる学校外での学習活動をぜひ、子どもと一緒に計画してみませんか。ということで、中を見ていただくと、まず、ラーケーションの日とはということで、愛知県全体のワーク・ライフ・バランスの充実を目指す休み方改革プロジェクトの中で生まれたラーケーションの日は、学びと休暇を合わせ、組み合わせた愛知県発の新しい学び方、休み方です。子どもが保護者等とともに校外、家庭や地域へ体験や探求の学び、活動を自ら考え企画し、実行することができる日、それがラーケーションの日です。校外での自習、学習活動であるため、学校に登校しなくても欠席とはならず、出席停止等と同じ扱いとなります。保護者の休暇に合わせて届出をし、年に３日まで取ることができます。ただし、令和５年度については２学期以降の実施となるため２日となります。

ラーケーションの日の流れ、届出ですが、まず、計画を立てます。そして、学校、田原市教育委員会から指定された方法で学校に届け出ます。

当日、これは平日です。平日で授業は行っていますが、ラーケーションの日ということで、保護者等と体験、探求的な学びを行うということになっております。

ラーケーションの日にご留意いただきたいこととして、ラーケーシ

ョンの日は、事前に届け出る必要があります。それから給食については、田原市教育委員会のルールをご確認ください。それから、ラーケーションの日を取ること、平日にお休みをするものですから、欠席扱いにはならないですけれども、授業が進んでいくので、授業がその分遅れるということになるのですが、それについては保護者の責任で家庭で自習をしてくださいということになっています。

それから、この下の部分については、各学校で入力してもらうのですが、ラーケーションを取ることができない日を設けないと、テストの日や、テストの日に休むことはよほどないと思うのですが、ここはさすがにということで、取ることはやめてくださいという日を各学校が設定をします。

活動のポイントとしましては、右のページですが、家族で一緒に過ごす時間とかということで、こういった例がありますよということです。それからQRコード、もう実は使うことができまして、これをスマホ等で読み取ると、こんなスポットがありますというのが出てきます。ここに載せるということで今、市の観光課にも、どこを載せたらいいですかということで、今載せるデータをお願いしているところでございますので、もし、博物館等も載せることができるようになっております。

一番最後、裏には、愛知県はどうしてラーケーションの日を作ったのかなどが、載っております。届出をして、平日学校で授業を行っているのですが、保護者の休暇、休みに合わせて校外での体験、探求の学びをする、保護者と一緒にするということで書かれて、愛知県がこの9月からスタートをするものでございます。

それから、もう1枚、保護者宛てのものがこのように1枚、これはまだこれからリーフレットとともに保護者に配るのですが、ラーケーションの日につきましては、2学期以降というように県となっておりますが、田原市では、ここにありますように、田原市では、本年度のラーケーションの日について、以下のように実施しますので、ご理解、ご協力賜りますようお願いいたしますということでありまして、田原市では、11月1日から2月29日で今年度は実施をしたいというように考えています。このようなラーケーションカードというものがあるのですが、これを使って各家庭で計画をします。計画ができれば、取ろうとする月の前々月の20日から前月の5日までの間にカードを学校に提出をします。ここで受け取って、学校はラーケーションカードを確認して、その日の給食を停止の手続をします。前月の5日までに申し出た分について給食を停止します。下の括弧にありますように、ラーケーションの日については、前月の5日以降の申し出でも可能ですけど、給食を提供する関係で、前月の5日までに申し出た分までをキャンセルできるというように田原市ではしております。

教育長

ラーケーションの日の当日は、校外での自主学習活動であるため、学校に登校しなくても欠席とはならず、出席停止、忌引き等と同じ扱いになります。

5番目としまして、ラーケーションへの後には報告などの必要はありませんということで、今年度につきましては2学期以降の実施なので2日間。2日間連続でもいいですし、1日ずつ2回でもいいので、取ることが可能ということで実施したいと考えております。

その他にありますように、11月から2月ということですがけれども、この方法については、本年度に限ったもので、本年度2月まで行った様子を見て来年度以降の実施を考えていきたいというように思っております。

たくさん情報がありますが、以上です。

ただいま事務局の説明がありました。

何かご質問等がありましたらお願いします。

田中委員どうぞ。

田中委員

小学生のお母さんから聞かれたのですが、ラーケーションで具体的に言ってしまいますけど、ユニバーサルスタジオに遊びに行ってもいいのかなと聞かれました。

学校教育課長

それは、そうなることも十分想定されるのですが、ただ、このカードで出してもらうものですから、ラーケーションの意義、意義はここにありますように、体験や探求の学び、活動を自ら考え企画し、実行することができるということで考えていただく、それを指定された方法で必要事項を記入し申し出ていただくものです。給食のキャンセルについてはいいと思うのですがけれども、この学ぶ日と学ぶ場所と学ぶことというのを書いて学校に出すものですから、理由をどう書くか、大阪と書くのか分かりませんが、学校はこれを見てユニバーサルは駄目とは言いません。実際にいざ行けば、ラーケーションということで受け付けます。

田中委員

観光を学ぶとか書けばいいですかね。

学校教育課長

ハリーポッターの本を読んで、その世界を体験しに行くということでもいいと思います。ただ、学校としては、完全にユニバーサルスタジオに行って、遊んで帰ってくるだけみたいな感じだったとしても、そこに家族での何らかの学びがあるということで、これはあなた受け付けませんということはないです。ただ、この主旨を踏まえた上で取っていただくということです。

それから、Q&Aにもあったのですが、学びの要素があれば旅行に出かけることもできますが、大切な授業の代替りの活動です、平日授業を休んでいくということですから、休んでそこで学習する、授業は先生が後から何とかしてくれなくて、家庭でお願いしますということで、その分授業が進んで、先生たちはもう1回復習をせずに、次の

	ところからスタートしていくので、1時間なり2時間遅れるのですが、それは家庭でということなので、それを理解した上で取っていただくということで、実際、教育委員会にも問合せがあって、旅行へ行っても休みにならないという日があるんですかという電話もありました。 あくまで学びの休暇で、休暇は平日にしか休みが取れない保護者とともにという目的ですが、ただ、家で家族と一緒に料理を作るというのもラーケーションになるものですから、出かけることが必要ではありません。 市町によっていろいろですけど、田原市としてはカードを出してもらうことで、学びということを押さえた上で出していただく。結果的にユニバーサルに行くというような可能性もありますけど、そこは先生たちは問わないものですから、まずはこれを書いて出していただくということを大事にしたいと考えています。
田中委員 金田委員	収穫の喜び、農家は仕事を子どもに学んでもらえばいいですかね。 多分、やってみればいろいろな問題が出てくるだろうね、いいことだと思いますけどね。
教育長	今年については、あくまでも試行ということで、お試しでその形で田原市はやります。それを受けて、またもしかしたら改善点があれば、改善をしてということなと思います。
金田委員	僕なんか、留学生を預かっていると、こういうことはすごくいいことだなとつくづく感じますけど。
教育長	多分、親ごさんたちから様々なご意見があると思うのですが、賛同していただける方と、そうではない方もいると思いますけど、まずはやってみるということであります。
田中委員 学校教育課長 学校教育課長	取得目標とかあるのでしょうか。 ないです。 ゴールデンウィークの間の日とかが、もしかしたら学校は普通にやっていますけど、ほとんどいないというようなことも心配されます。それでも学校は休みにならないものですから。
田中委員	うちの子は授業を受けに行きます。 ありがとうございます。
金田委員 教育長	また、何件あったか教えていただけたらと思います。 その他、よろしかったでしょうか。
教育総務課長	それでは、ご質問もないようですので、報告事項（3）寄附について、事務局から報告をお願いします。 それでは、よろしくお願いいたします。ホチキスどめの2点のものでございます。
生涯学習課長	5番、令和5年6月15日、お亡くなりになりました森下さんの遺言で、生涯学習課に田原市におけるクラシックを中心とした学校振興

教育総務課長

及び学校教育のために現金1,000万円をいただいております。

以上です。

それでは、6番目でございます。

6月20日に、藤城信幸先生から市内22小中学校向けに、渥美半島の戦後ということで、1枚はねていただきますと本のカラー写真が添付してあるかと思えます。既に、新聞にも掲載されておりますので、皆さんご承知かと思えますけど、本の寄附がありました。

続いて7番目でございます。

6月30日に河合組さんから、野田小学校あてに福祉教育活動支援充実のためにということで、アルミ缶の回収ボックスをいただいております。先ほどの渥美半島の戦後の次の写真ですね。このようなダストボックスをいただいております。

続いて8番目、7月12日に藤城征夫さんから、中部小学校に教育環境の充実のためにということで、50万円いただいております。

最後9番目で7月14日に杉浦国男様、これは豊橋の方で、豊橋の相撲協会の会長で、いろいろ地域活動をされている方だそうです。この方から、市内の22小中学校に防災対策のためにということで書籍「お笑い地蔵さまの笑ちゃん」、これも別添に写真を添付してございます。薄い冊子のものございまして、これも22冊いただいております。22冊につきましては、各小中学校に配布させていただいております。

報告については以上でございます。

教育長

ただいま事務局の説明がありました。寄附について、ご質問等ございますでしょうか。

ご質問もないようですので、以上で報告事項を終わります。

教育長

次にその他ですが、事務局から何かありますでしょうか。

教育総務課長

それでは、その次の資料に今後の日程について示させていただきます。

本日の第7回定例会の後は、7月24日月曜日に東三河小中高特連携教育推進協議会が東三河県庁でございます。こちらにつきましては、教育長と太田委員さんをお願いしたいと思っております。

8月18日に第8回の定例会を予定しております。

今度は、南庁舎の4階になります政策会議室で行いますのでお願いしたいと思います。

9月22日、第9回の定例会、1時半からこの会場で行いますのでご予約をお願いしたいと思います。

次に、10月25日に市制20周年記念給食を予定しております。市長さん、教育長さんは現場の学校を予定しておりますけど、教育委員の皆様にも給食センターで食べる機会を設けたいと思いますので、また、都合のつく方はお願いしたいと思います。出欠については、また後日

文化財課長

ご連絡させていただきますので、よろしくお願いします。

続いて、教育関係イベント等についてでございます。これにつきましては、各課であればお願いしたいと思います。

7月の夏休みに入りまして、シェルマ吉胡で夏の特別体験ということで、夏休み限定の体験ができるようになっております。一部は申込制になっておりますので、ご記入いただいて体験をしていただければと思います。

それから、文化財課の関係でいきますと、そこから2つ下がったところに、生誕150年の宮川春汀とあります。8月5日から今の太田洋愛展が終了した後の展示になりますが、挿絵画家として東京に出て活躍をした柳田國男とかとも友達関係を作って、宮川春汀という人が生誕150年を迎えますので、ミニ企画ですがそちらを博物館で行っていきます。

文化財課としては以上になります。

スポーツ課長

続きまして、スポーツ課お願いいたします。

イベント等の2番目、7月28日金曜日、これは毎年同じようにやっているのですが、三遠ネオフェニックスの中学生のバスケットボール教室を今回も予定しております。田原市の総合体育館で実施する予定となっております。

1つ飛んで、8月10日から8月13日、2023世界少年野球大会、こちらは昨年予定しておりましたが、コロナの関係で1年間延びたということで今年度実施する予定でございます。

田原市としては、予選会場といたしまして滝頭運動講演を試合会場の一つとしております。メイン球場は、豊橋市民球場ですが、岡崎市民球場と関連機関が複数ありまして、予選、決勝をやっていく予定となっております。

その下になります。8月18日金曜日、トヨタ車体のクイーンシーズというバレーボールのプロチームですが、こちらの中学生バレーボール教室を渥美運動公園屋内競技場で実施する予定でございます。こちら昨年にも引き続き、同じチームが指導していただきます。よろしくお願いいたします。

続きまして、裏面になります。

今年も昨年と同様、トライアスロン伊良湖大会2023を予定しております。9月9日土曜日、大会の開会式、9月10日日曜日、大会当日となっております。

それと併せまして、お手元に大会及び開会式について資料を配布させていただきます。こちらは9月9日土曜日の開会式と9月10日の大会の出欠を取らせていただきまして、また、ファックスでトライアスロン実行委員会、こちらウィズになりますが8月4日までにTシャツのサイズをご連絡いただけたらと思います。また、開会式では

	有料になりますが、今年もカツサンドをご用意させていただきますので、こちら方もお願いいたします。 最後になりますが、9月30日土曜日、こちらも第4回になりますがオフロードトライアスロンイン田原を、白谷海浜公園を中心に実施してまいります。今年度はまたコースのほう、昨年、コースがハードすぎるという意見あったものですから、コースの選定について、現在見直ししておりますので、コースは変わりますけれども、9月30日土曜日、同じように実施していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。 以上となります。
生涯学習課長	それでは、イベント等で表の面の下から2つ目、8月18日金曜日に、NHKFMの民謡を訪ねての公開収録が行われます。観覧希望の方は、来週の月曜日までにNHKの専用フォームから登録等が必要になります。また、少し空いているというのを聞いていますので、まだ申し込まれていない方がいらっしゃいましたら、是非とも申し込んでいただきたいと思います。 それから、裏側に行ってもらって、9月30日土曜日に文化会館のホールでゼロ歳から始めるオーケストラということで、1部と2部に分けてありまして、午前中にゼロ歳から4歳を対象に、2部は5歳から小学生、一般までということでこちらについては間もなくホームページなどでお知らせをしていきます。
図書館長	以上です。 図書館と博物館が主催で、8月5日の土曜日にウィキペディアタウンイン田原というイベントを田原市博物館で行います。博物館の展覧会を観て、田原に関連する項目をウィキペディアで実際にみんなで編集するようなイベントとなっております。よろしくお願いいたします。
教育長	今の説明について何かご質問がありましたらお願いします。 委員の皆様方もご都合がございましたらぜひ、ご参加お願いします。
文化財課長	あと、配付された資料で田原市の文化財についてお願いします。 本日、年報を配らせていただきました。令和4年度の博物館の文化財年報になりますので、また、お時間のあるときにご覧いただいて、博物館の活動、それから、文化財保護の活動等が掲載されておりますので、ご参考にご覧いただければと思います。
教育長	以上です。
学校教育課長	学校教育課長の方もお願いします。 もう1枚、日程の案の下につけてありますけれども、保護者宛てに7月19日付で教育委員会から夏休みに入る前にということで、チャットGPTとの生成AIの利用についてという文書を出させていただきました。この文面自体は、県の教育委員会から来た文書と同様の内容でございますが、1番にありますように文部科学省のガイドラインに

沿って下線のとおり当分の間、学校内で児童生徒が生成A I を利用する教育活動は行わないこととしますということです。

それから、特に（１）の長期休業中の課題ということで、読書感想文やレポートなど、長期休業中の課題に対して、生成A I による生成物やインターネットからダウンロードしたものを自己の成果物として提出することは、目指す学びが得られず、自分のためになりません。

また、コンクールにおいては、不正行為とみなされる場合がありますということで、こういった注意喚起、それから（３）の生成A I ツールの利用規約ということで、例えば、チャットG P Tを利用できるのは13歳以上で18歳未満の場合、保護者の同意が必要ですよというものですから、そもそもが小学生の利用は想定していないということでございます。文部科学省の１番にありますようなガイドラインから、当面知見の蓄積を進めることが必要ということもあって、ずっとやりませんよということではなく、当分の間学校では生成A I を利用した教育活動は行わないということで、保護者には周知をさせていただいております。

裏には、生成A I の利用についてということで、生成A I はこういうものですよということと、それから学校外、内での利用については、こういう注意が必要です、それから長期休業中の課題についてはこういったことに注意してくださいということで載せられております。

以上です。

教育長

いずれは、教育現場でもこういったものの活用は行われるようにはなっていくと思うのですが、まだ現段階ではよく煮詰められておらず、使用による不都合のほうが多いのではないかとということもあって、

学校教育課長

使う場合、チャットG P Tが一番有名ですが、それ以外に幾つかあって、例えばどれを使うかというのをまず決めるのと、これを使うということで保護者に同意を得るとということと、その上でタブレットに入れていくということですから、チャットG P T以外にも何種類かあるのに、どれを使うかというところからしても、なかなかすぐに決められないのと、そもそも今の学習ですと検索するぐらいであれば必要がないです。ヤフーなりグーグルで何か言葉を入れて検索する程度であれば必要がないものですから、そういったこともあってまだまだ、しばらく時間がかかるかなということです。

特に、先ほど申しましたように夏休みの宿題とか、そういったことが一番心配されるものですから、夏休み前ということでこの文書を出させていただいております。

教育長

今の件につきまして、ご質問等ございますでしょうか。

そのほか事務局から何かありますでしょうか。

それでは、委員の皆様方から何かありましたらお願いします。

よろしかったですかね。

特にないようですので、以上で本日の議事は全て終了いたしました。
ご協力ありがとうございました。

これをもちまして、田原市教育委員会第7回定例会を閉会とさせていただきます。

ありがとうございました。

閉 会 午後3時5分

教育長

委員

委員